

動物たちのために 私たちができること

私たちは生活していく上で、たくさんの生命を犠牲にしています。
でも、犠牲はできるだけ少ない方がいい。
苦しんでいる動物たちのために誰にでもできることがあります。

動物実験をなくすために

動物実験していないメーカーの製品を選んで購入する

あなたは、動物実験をされた化粧品を使っていますか？日本では、化粧品やトイレタリーのメーカーの多くが、いまだに動物実験を行っています。しかし最近では、動物実験をしないメーカーも増えています。動物実験をしないメーカーの製品を購入しましょう。そして、持っていないライフスタイルを周りの人にも提案しましょう。



皮膚の刺激性試験を受けたくない動物を飼っているウサギ



目やせを目的に薬品を注入されるウサギ

※JAVAでは動物実験していない化粧品メーカーを掲載した「JAVAコスメガイド」を、ご希望者に提供中!! (490円+送料)

メーカーに消費者の声を届ける

動物実験は化粧品以外にも日用品や医薬品など、様々な製品で行われています。「動物実験していない製品を買いたい」ということを、そういったメーカーに伝えることが重要です。電話をしたり、メールや手紙を出しましょう。

犬や猫の殺処分をなくすために

「病気になった」「年をとった」「汚くなった」「肥えた」「引越しをする」など無責任な理由で、いとも簡単に命を捨ててしまう飼い主がいます。動物を飼うのなら、終生愛情を持って飼うことは最低限の飼い主の義務です。

犬や猫と暮らしたい人は、里親になろう

犬や猫はペットショップから購入するのではなく、自治体が行っている「譲渡制度」を活用し、捨てられた犬や猫の里親になりましょう。もし、地域の自治体にこの制度がない場合は、「つくってください!」と近所や市街にメールや手紙を出してください。殺処分されていく犬や猫を一つでも多く救いましょう。



平成23年度には19万頭もの犬猫が処分されたのです。



動物保護センターなどに収容された犬や猫は、二回以上検査(CD)によって殺処分されます。これは動物病院であり決して安楽死ではありません。

犬や猫には不妊・去勢手術をさせよう

「いつのまにか産まれてしまった」「戻されたけれど飼えないし...」こんな無責任な飼い主がいるせいで、毎年多くの子犬・子猫が殺処分されています。このような不幸な命をこれ以上増やさないため、飼い犬猫やホームレス猫にも不妊・去勢手術をさせましょう。徹底すれば、殺処分される犬や猫は大幅に減少します(不妊・去勢手術は、病気の予防にもなります)。



同じ地球に生きる仲間たちのために

毛皮製品や象牙の印鑑を買わない

口と鼻をふさがれ、窒息死させられる。口と肛門から電気を流される。傷がなく高価のつく毛皮をとるために、動物たちはこんな残酷な方法で殺されます。流行にまどわされ毛皮を買うことは、あなた自身が動物の毛皮と血を飲んでいることと同じです。

また象牙の印鑑やアクセサリーのために、たくさんのゾウが殺されています。足を踏ごとそぎ取られ、死体はセパナに置き去りにされます。日本から象牙の需要がある限り、ゾウの密猟は絶えないのです。あなたにできること……それは、毛皮や象牙を使った製品を買わないことです。



毛皮をはぎ取られたミンク



毛皮をとるために飼育させられるミンク。狭い檻の中でストレスから自傷いずることもあり、苦しみが長い一生を過ごします。



「野生動物を守ろう」の声を届ける

サル、シカ、クマ、イノシシ、カラス、マングース、アライグマなど、日本では毎年多くの野生動物が、有害鳥獣駆除の名目で殺されています。国語をしている地域の自治体へ「動物たちを殺さないで！ 動物と人間が一緒に暮らせる政策に転換してください」と訴えることで、自治体の政策は改善されていきます。また、捕獲されて見世物として飼育される動物もいます。野生動物としての生態はまったく無視され、一生を狭い檻に閉じ込められて過ごすことになるのです。狭く汚い檻で飼われている、水や食べ物が充分でない、やせている、毛並みが悪いなどの動物を見かけたら都道府県に通報してください。



命を大切にできる教育を広める

いまだに解剖実習を行っている学校(中学校など)がありますが、解剖は義務付けられたものではなく、担当の教師の考えひとつですぐにでも止められる授業内容です。生き物を殺したり、切り刻んだりする行為は生徒たちの心を深く傷つけ、悪影響を与えます。「残酷な解剖実習はやりたくない。自然や動物を大切にできる教育を受けたい」と学校に伝えましょう。生きた動物を殺さなくても、顕微鏡を忠実に再現した模型やコンピュータソフトなどを利用して、充分学ぶことができます。すでに学校での解剖実習を廃止している国もあります。



動物実験に代わって、動物学教育の代替品として開発されたソフトを、人工製もあり、とても精巧につくられています。世界では、大学の部活や部会や学部でさえ、動物実験をしない中で学べる大学が増えてきました。

JAVAを応援してください!

●ぜひJAVAの会費に添ってください。入会資料などをご希望の方は、JAVA事務局へご連絡ください。

●JAVAの活動にご支援ください。ご寄付の振込先【郵便振替口座：東京 00190-2-670517/ 加入者名：JAVA】[おうち銀行] 〇一〇一 当座 0870517]

JAVA NPO法人動物実験の廃止を求める会
JAPAN ANTI-VIVISECTION ASSOCIATION

F150-0031 東京都渋谷区桜丘町2-9番31号 404
TEL: 03-5456-9011 FAX: 03-5456-1011
URL: <http://www.java-animal.org> E-mail: java@java-animal.org

※JAVAは動物実験の廃止を目的とした非営利のボランティア団体です。

JAVAは1990年に設立された全国規模の市民団体です。動物実験の廃止と、その倫理的・科学的な議論を広く知らせ、動物実験の廃止を目的とする活動と共に、動物の権利保護と動物の命を守る活動を活発に行っています。世界100以上の動物保護団体とネットワークを持ち、世界有数の団体で組織された国際動物保護委員会(ICAP)にはアジア地域で唯一のメンバーとして参加するなど、国内外の動物保護に積極的に参加しています。